

白岡市の給与・定員管理等について

(令和2年度)

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

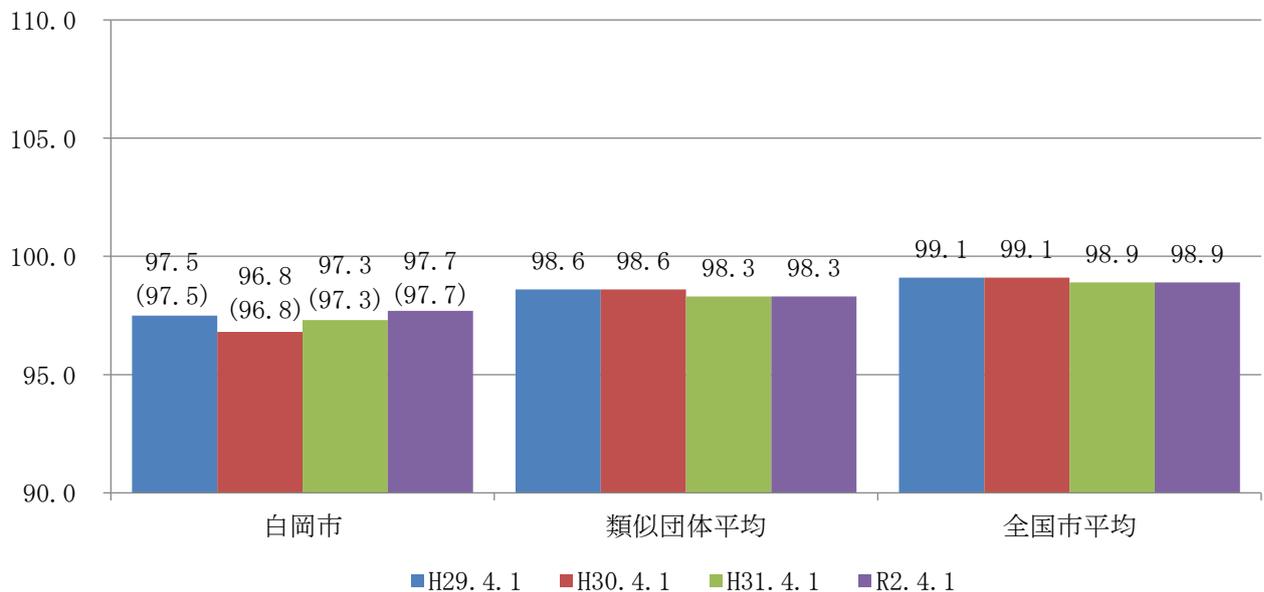
| 区分 | 住民基本台帳人口 (令和2年1月1日) | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 平成30年度の人件費率 |
|-----------|------------------------|------------------|---------------|-----------------|-------------|---------------------|
| 令和 元年度 | 人 52,404 | 千円 14,483,337 | 千円 585,381 | 千円 2,508,949 | % 17.3 | % 16.4 |

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

| 区分 | 職員数 A | 給与費 | | | | (参考) 一人当たり 給与費 B/A | (参考) 類似団体平均 一人当たり 給与費 |
|-----------|----------|-----------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------------------|--------------------------------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | | |
| 令和 元年度 | 人 325 | 千円 1,066,617 | 千円 245,478 | 千円 442,315 | 千円 1,754,410 | 千円 5,398 | 千円 6,180 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は平成31年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 ()書きの数値は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。
 (補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給率) / (1 + 国の指定基準に基

づく地域手当支給率)により算出。)

3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

※ 令和2年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期） 平成27年4月1日

（内容） 一般行政職の給料表については、国の見直し内容を踏まえ、平均1.7%（最大で3.4%）引き下げ。また、激変緩和のため、3年間（平成30年3月31日まで）の経過措置（現給保障）を実施。他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合） 国基準6%に対し、白岡市においても6%を支給。

（実施時期） 平成27年4月1日より実施。段階的に支給割合を引上げることとし、平成27年4月1日時点は4%、給与改定後は平成27年4月に遡及し5%、平成28年4月1日以降は6%を支給。

（参考）

| | 平成26年度の 支給割合 | 平成27年度の 支給割合 | | 平成28年度 の支給割合 | 平成29年度 の支給割合 | 平成30年度 の支給割合 | 令和元年度 の支給割合 | 令和2年度 の支給割合 |
|----------------|-----------------|-----------------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|
| | | 4月1日 現在 | 遡及改定後 | | | | | |
| 国基準による 支給割合 | 3% | 4% | 5% | 6% | 6% | 6% | 6% | 6% |
| 白岡市の 支給割合 | 3% | 4% | 5% | 6% | 6% | 6% | 6% | 6% |

③その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施（平成27年4月1日実施）。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和2年4月1日現在）

①一般行政職

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|-------|----------|----------|--------------------|
| 白岡市 | 40.8歳 | 305,900円 | 374,376円 | 352,858円 |
| 埼玉県 | 42.3歳 | 323,193円 | 416,705円 | 372,144円 |
| 国 | 43.2歳 | 327,564円 | — | 408,868円 |
| 類似団体 | 41.4歳 | 310,239円 | 388,335円 | 355,548円 |

②技能労務職

| 区分 | 公務員 | | | | |
|---------|-------|--------|----------|---------------|--------------------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額 (A) | 平均給与月額 (国比較ベース) |
| 白岡市 | 53.4歳 | 17人 | 265,600円 | 290,230円 | 286,359円 |
| うち給食調理員 | 57.0歳 | 3人 | 247,800円 | 266,900円 | 262,700円 |
| うち校務員 | 53.7歳 | 6人 | 253,300円 | 274,517円 | 273,167円 |
| うちその他 | 52.0歳 | 8人 | 281,500円 | 310,664円 | 305,151円 |
| 埼玉県 | 55.9歳 | 213人 | 346,502円 | 402,282円 | 386,395円 |
| 国 | 50.9歳 | 2,319人 | 287,283円 | — | 328,862円 |
| 類似団体 | 51.7歳 | 21人 | 325,579円 | 377,577円 | 357,939円 |

| 区分 | 民間 | | | 参考 A / B |
|---------|-----------------|-------|---------------|-------------|
| | 対応する民間 の類似職種 | 平均年齢 | 平均給与月額 (B) | |
| 白岡市 | — | — | — | — |
| うち給食調理員 | 調理士 | 43.9歳 | 271,600円 | 0.98 |
| うち校務員 | 用務員 | 55.9歳 | 207,900円 | 1.32 |
| うちその他 | — | — | — | — |
| 埼玉県 | — | — | — | — |
| 国 | — | — | — | — |
| 類似団体 | — | — | — | — |

| 区分 | 参考 | | |
|---------|---------------|-------------|-------|
| | 年収ベース（試算値）の比較 | | |
| | 公務員 （C） | 民間 （D） | C / D |
| 白岡市 | 4,724,160 円 | — | — |
| うち給食調理員 | 4,368,600 円 | 3,678,300 円 | 1.19 |
| うち校務員 | 4,487,904 円 | 2,862,400 円 | 1.57 |
| うちその他 | 5,033,544 円 | — | — |

- * 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している（平成29～令和元年の3か年平均）。
- * 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。
- * 年収ベースの「公務員（C）」及び「民間（D）」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和2年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（令和2年4月1日現在）

| 区 分 | | 白 岡 市 | 埼 玉 県 | 国 |
|-------|-----|----------|----------|----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 188,700円 | 191,664円 | 182,200円 |
| | 高校卒 | 154,900円 | 157,333円 | 150,600円 |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和2年4月1日現在）

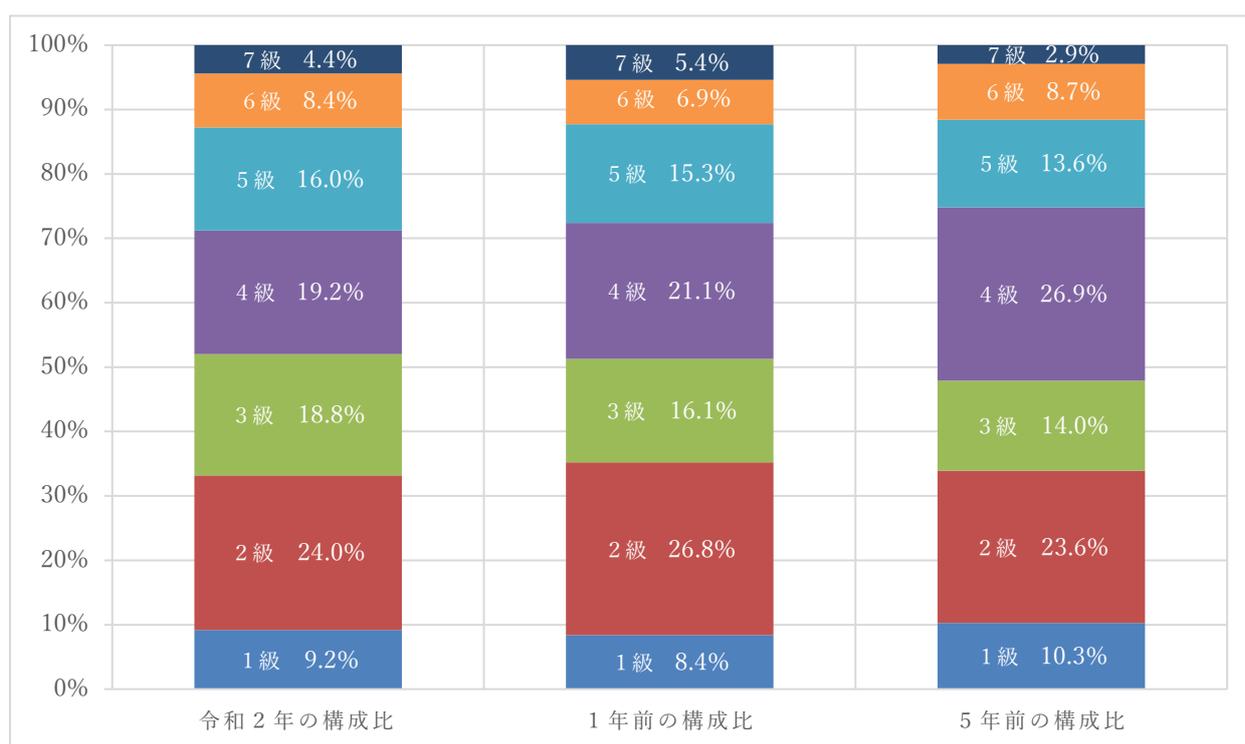
| 区 分 | | 経験年数 | | | |
|-------|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | 10年以上 ～15年未満 | 20年以上 ～25年未満 | 25年以上 ～30年未満 | 30年以上 ～35年未満 |
| | | 一般行政職 | 大学卒 | 265,400円 | 359,300円 |
| | 高校卒 | 244,100円 | 328,900円 | 349,100円 | 368,000円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | — 円 | 251,500円 | 246,700円 | 292,700円 |
| | 中学卒 | — 円 | — 円 | — 円 | — 円 |

3 一般行政職の級別職員数等の状況

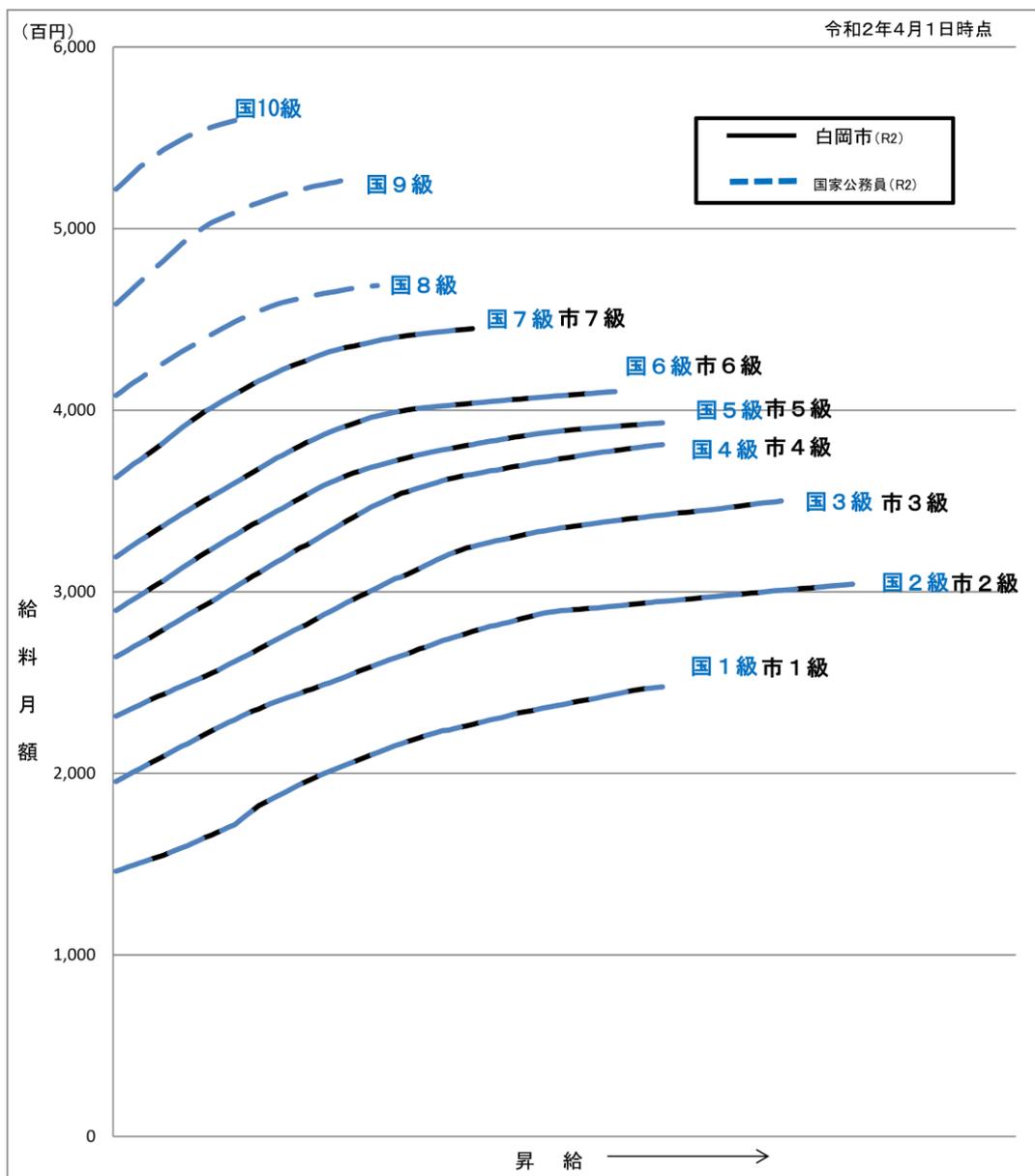
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和2年4月1日現在）

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|--|-----|-------|----------|-----------|
| 1級 | 主事 上司の命を受け、事務又は技術に従事する。 | 23人 | 9.2% | 146,100円 | 247,600円 |
| 2級 | 主事 上司の命を受け、事務又は技術に従事する。 | 60人 | 24.0% | 195,500円 | 304,200円 |
| 3級 | 主任 上司の命を受け、事務又は技術で相当困難なものに従事する。 | 47人 | 18.8% | 231,500円 | 350,000円 |
| 4級 | 主査 上司の命を受け、担当する事務又は特に指定された事務を処理し、その事務を処理するため、担当の職員を指揮監督する。 | 48人 | 19.2% | 264,200円 | 381,000円 |
| 5級 | 課長補佐 課長を助け、職員の担任する事務を監督し、課の事務を整理する。 | 40人 | 16.0% | 289,700円 | 393,000円 |
| 6級 | 課長 上司の命を受け、課の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。 | 21人 | 8.4% | 319,200円 | 410,200円 |
| 7級 | 部長 上司の命を受け、部の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。 | 11人 | 4.4% | 362,900円 | 444,900円 |

- (注) 1 白岡市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和2年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（白岡市）

| 令和2年4月2日から令和3年4月1日 までにおける運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|--------------------------------|-------------|---------------|-------------|---------------|
| | 昇給可能な 区分 | 昇給実績が ある区分 | 昇給可能な 区分 | 昇給実績が ある区分 |
| イ. 人事評価を活用している | ○ | | ○ | |
| 活用している昇給区分 | | | | |
| 上位、標準、下位の区分 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 上位、標準の区分 | | | | |
| 標準、下位の区分 | | | | |
| 標準の区分のみ（一律） | △ | | △ | |
| ロ. 人事評価を活用していない | | | | |
| 活用予定時期 | | | | |

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 白岡市 | 埼玉県 | 国 |
|--|--|--|
| 1人当たり平均支給額(令和元年度) 1,361千円 | 1人当たり平均支給額(令和元年度) 1,755千円 | — |
| (令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.90月分 (1.45)月分 (0.90)月分 | (令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.90月分 (1.45)月分 (0.90)月分 | (令和元年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.90月分 (1.45)月分 (0.90)月分 |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～20% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～20% ・管理職加算 15%～25% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%～20% ・管理職加算 10%～25% |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○勤勉手当への人事評価の活用状況(一般行政職)(白岡市)

| 令和2年度中における運用 | 管理職員 | | 一般職員 | |
|-----------------|----------|------------|----------|------------|
| イ. 人事評価を活用している | ○ | | ○ | |
| 活用している成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 | 支給可能な成績率 | 支給実績がある成績率 |
| 上位、標準、下位の成績率 | ○ | | ○ | ○ |
| 上位、標準の成績率 | | ○ | | |
| 標準、下位の成績率 | | | | |
| 標準の成績率のみ(一律) | | | | |
| ロ. 人事評価を活用していない | | | | |
| 活用予定時期 | | | | |

(2) 退職手当(令和2年4月1日現在)

| 白岡市 | 国 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| (支給率) 自己都合 応募認定・定年 | (支給率) 自己都合 応募認定・定年 |
| 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 | 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 |
| 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 | 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 |
| 勤続35年 39.7575月分 47.709月分 | 勤続35年 39.7575月分 47.709月分 |
| 最高限度額 47.709月分 47.709月分 | 最高限度額 47.709月分 47.709月分 |
| その他の加算措置 | その他の加算措置 |
| ・定年前早期退職特例措置 (割増率2%～45%) | ・定年前早期退職特例措置 (割増率2%～45%) |
| 1人当たり平均支給額 | |
| ・自己都合 2,931千円 | ・自己都合 22,055千円 |
| ・応募認定・定年等 | |

(注) 1 白岡市は、埼玉縣市町村総合事務組合に加入しており、退職手当の支給率は同組合の条例に基づくものである。

2 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和元年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（令和2年4月1日現在）

| | | | |
|--------------------------|-----|----------|-----------|
| 支給実績（令和元年度決算） | | 68,122千円 | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算） | | 209,606円 | |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 | 国の制度（支給率） |
| 全地域 | 6% | 336人 | 6% |

(4) 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

| 支給実績（令和元年度決算） | | 0千円 | | |
|--------------------------|---------------------|-------------------------------------|-------------------|------------------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算） | | 0円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（令和元年度） | | 0% | | |
| 手当の種類（手当数） | | 2種類 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 (令和元年度決算) | 左記職員に対する 支給単価 |
| 防疫作業 手当 | 感染症の防疫作業 に従事する職員 | 感染症患者の救護、感 染症の病原体に汚染さ れた物件の処理 | 0千円 | 1件につき 1,000円 |
| 行旅死病人 取扱手当 | 行旅死病人の取扱 に従事する職員 | 行旅病人の救護 | 0千円 | 1人につき 1,000円 |
| | | 行旅死亡人の処理 | 0千円 | 1体につき 3,000円 |

(5) 時間外勤務手当

| | |
|-------------------------|----------|
| 支給実績（令和元年度決算） | 81,298千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（令和元年度決算） | 296千円 |
| 支給実績（平成30年度決算） | 63,067千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（平成30年度決算） | 216千円 |

（注）1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和元年度又は平成30年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (令和2年4月1日現在)

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (令和元年度決算) | 支給職員1人 当たり平均 支給年額 (令和元年度決算) |
|--------------------|--|----------|------------|--------------------|--------------------------------------|
| 扶養手当 | ・ 配偶者 6,500円 | 同じ | — | 24,958千円 | 217,026円 |
| | ・ 父母等 6,500円 | | | | |
| | ・ 子 10,000円 | | | | |
| | ・ 満16歳の年度初めから 満22歳の年度末までの子 5,000円加算 | | | | |
| 住居手当 | 借家等居住者 (家賃額に応じて) 月額最高28,000円 | 同じ | — | 13,768千円 | 312,909円 |
| 通勤手当 | ・ 交通機関等利用者 運賃等相当額(最高月額55,000円) ・ 自動車等利用者 (距離に応じて)月額2,000円 ～31,600円 | 同じ | — | 12,916千円 | 48,194円 |
| 管理職 手当 | 管理又は監督の地位にある職員 (役職に応じて) 35,000円～70,000円 | 同じ | — | 44,371千円 | 547,790円 |
| 単身赴任 手当 | 公署を異にする異動等に伴い、 同居していた配偶者と別居すること となった職員で、当該異動等の 直前の住居から当該異動等の直後 に在勤する公署に通勤することが 困難であると認められ、単身で生 活することを常況とする職員 30,000円+加算額(交通距離に応 じて8,000円～70,000円) | 同じ | — | 0千円 | 0円 |
| 休日勤務 手当 | 休日において正規の勤務時間中 に勤務することを命ぜられた職員 (勤務1時間につき) 勤務1時間当たりの給与額 $\times 135 / 100$ | 同じ | — | (5)時間外勤務 手当に含む。 | (5)時間外勤務 手当に含む。 |
| 夜間勤務 手当 | 正規の勤務時間として午後10時 から翌日の午前5時までの間に勤務 する職員 (勤務1時間につき) 勤務1時間当たりの給与額 $\times 25 / 100$ | 同じ | — | 0千円 | 0円 |
| 管理職員 特別勤務 手当 | 管理職手当の支給を受ける職員が 次の勤務をした場合 ① 臨時又は緊急の必要その他 公務の運営の必要により週休 日又は休日等に勤務した場合 (役職に応じて) 4,000円～12,000円 ② 災害への対処その他の臨時又 は緊急の必要により平日の午前 0時から午前5時までの間の正規 の勤務時間以外の時間に勤務し た場合 (役職に応じて) 2,000円～4,000円 | 同じ | — | 0千円 | 0円 |

5 特別職の報酬等の状況（令和2年4月1日現在）

| 区分 | 給 料 月 額 等 | | | |
|------|---------------------|--|--|------------------------|
| 給料 | 市 長 | 810,000 円 (— 円) | (参考) 類似団体における最高/最低額 1,061,000円 / 455,000円 | |
| | 副 市 長 | 686,000 円 (— 円) | 885,000円 / 620,000円 | |
| 報酬 | 議 長 | 372,000 円 (— 円) | 737,000円 / 357,000円 | |
| | 副 議 長 | 294,000 円 (— 円) | 653,000円 / 294,000円 | |
| | 議 員 | 266,000 円 (— 円) | 591,000円 / 266,000円 | |
| 期末手当 | 市 長 副 市 長 | (令和元年度支給割合) 4.50 月分 | | |
| | 議 長 副 議 長 議 員 | (令和元年度支給割合) 4.50 月分 | | |
| 退職手当 | 市 長 副 市 長 | (算定方式) 810,000円 × 48月 × 0.35 × 1.15 686,000円 × 48月 × 0.21 × 1.15 | (1期の手当額) 15,649,200円 7,952,112円 | (支給時期) 任期ごと 任期ごと |
| | 備 考 | | | |

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

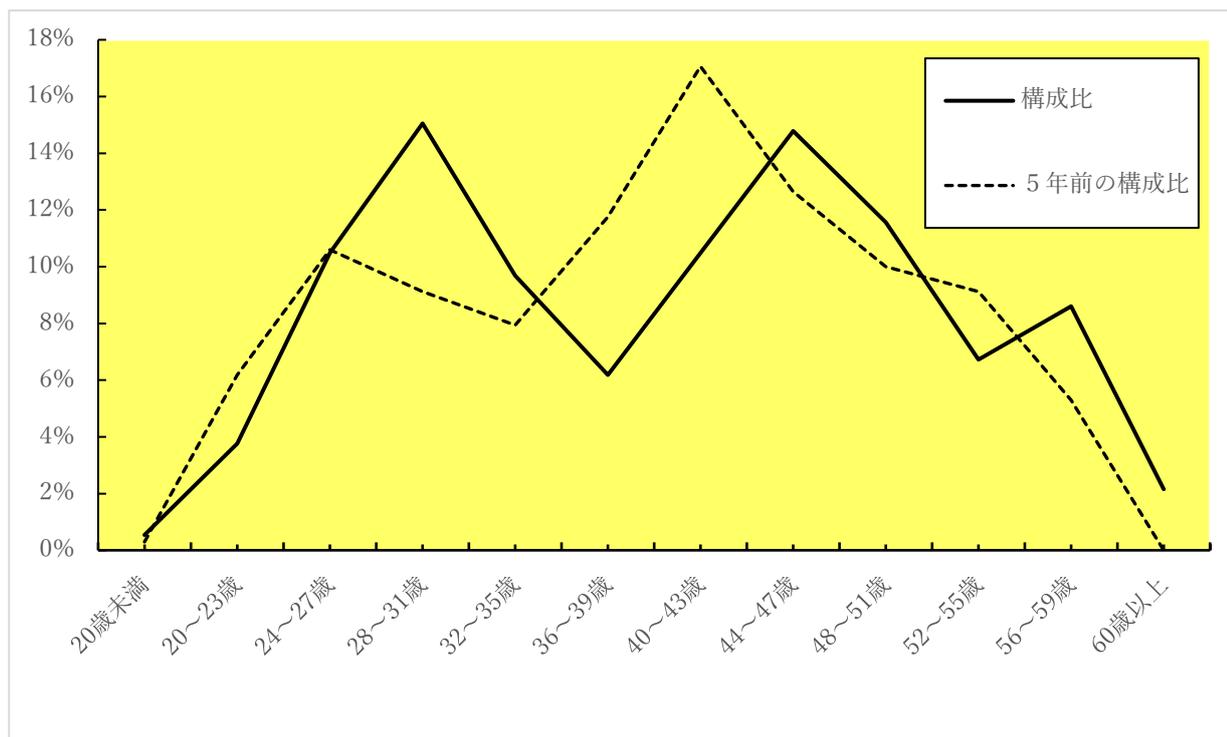
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

| 部門 | 区分 | 職員数 | | 対前年 増減数 | 主な増減理由 | |
|---------|--------|--------------|--------------|------------|---|--|
| | | 令和元年 | 令和2年 | | | |
| 普通会計部門 | 一般行政部門 | 議 会 | 5 | 5 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務増による増 ・欠員不補充による減 ・退職者補充のための重複配置による増 ・欠員不補充による減 ・退職者補充のための重複配置による増 ・退職者補充のための重複配置による増 |
| | | 総務・企画 | 75 | 78 | 3 | |
| | | 税 務 | 23 | 22 | ▲1 | |
| | | 労働 | 2 | 2 | 0 | |
| 農林水産 | | 12 | 12 | 0 | | |
| 商 工 | | 3 | 4 | 1 | | |
| 土木衛生 | | 43 | 42 | ▲1 | | |
| 民 生 | 86 | 90 | 4 | | | |
| | 衛 生 | 27 | 28 | 1 | | |
| | 計 | 276 | 283 | 7 | <参考> 人口1万人当たり職員数 54.00人 (類似団体の人口1万当たりの職員数 49.78人) | |
| | 教育部門 | 49 | 53 | 4 | ・複式学級対応による増 | |
| | 小 計 | 325 | 336 | 11 | <参考> 人口1万人当たり職員数 64.12人 (類似団体の人口1万当たりの職員数 63.42人) | |
| 公営企業等部門 | 水 道 | 8 | 9 | 1 | ・新設課への管理職の配置による増 | |
| | 下水道 | 9 | 9 | 0 | | |
| | その他 | 21 | 18 | ▲3 | ・欠員不補充による減 | |
| | 小 計 | 38 | 36 | ▲2 | | |
| 合 計 | | 363 [410] | 372 [410] | 9 [0] | <参考> 人口1万人当たり職員数 70.99人 | |

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
 2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（令和2年4月1日現在）



| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|------|
| 職員数 | 2人 | 14人 | 39人 | 56人 | 36人 | 23人 | 39人 | 55人 | 43人 | 25人 | 32人 | 8人 | 372人 |

(3) 職員数の推移

（単位：人・％）

| 部門別 \ 年度 | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 過去5年間の増減数(率) |
|----------|-------|-------|-------|-------|------|------|--------------|
| 一般行政 | 253 | 257 | 263 | 270 | 276 | 283 | 30(11.9%) |
| 教育 | 51 | 50 | 50 | 53 | 49 | 53 | 2(3.9%) |
| 普通会計計 | 304 | 307 | 313 | 323 | 325 | 336 | 32(10.5%) |
| 公営企業等会計計 | 36 | 34 | 38 | 38 | 38 | 36 | 0(0.0%) |
| 総合計 | 340 | 341 | 351 | 361 | 363 | 372 | 32(9.4%) |

（注） 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

| 区分 | 総費用 A | 純損益又は 実質収支 | 職員給与費 B | 総費用に占める 職員給与費比率 B/A | (参考) 平成30年度の総費用に 占める職員給与費比率 |
|-----------|---------------|---------------|--------------|---------------------------|-----------------------------------|
| 令和 元年度 | 千円 943,802 | 千円 125,320 | 千円 32,028 | % 3.4 | % 3.7 |

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費 12,449 千円を含まない。

| 区分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A | (参考) 市町村(政令指定 都市を除く)平均 一人当たり給与費 |
|-----------|----------|--------------|-------------|--------------|--------------|------------------|--|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | | |
| 令和 元年度 | 人 8 | 千円 30,390 | 千円 7,739 | 千円 12,951 | 千円 51,080 | 千円 6,385 | 千円 6,165 |

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。

2 職員数は、令和2年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

なし

② 職員の平均年齢、基本給及び平均月収額の状況(令和2年4月1日現在)

| 区分 | 平均年齢 | 基本給 | 平均月収額 |
|------|-------|----------|----------|
| 白岡市 | 42.1歳 | 343,995円 | 532,093円 |
| 団体平均 | 44.2歳 | 339,529円 | 512,723円 |

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

| 白岡市 | 団体平均 |
|---|------------------------------|
| 1人当たり平均支給額(令和元年度) 1,619千円 | 1人当たり平均支給額(令和元年度) 1,522千円 |
| (令和元年度支給割合) 期末手当 2.60月分 (1.45)月分 勤勉手当 1.90月分 (0.90)月分 | |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% | |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（令和2年4月1日現在）

| 白岡市 | | | 団体平均 |
|-----------------------------|-----------|-------------|--|
| (支給率) | 自己都合 | 応募認定・定年 | — 1人あたり平均支給額 8,861千円 |
| 勤続20年 | 19.6695月分 | 24.586875月分 | |
| 勤続25年 | 28.0395月分 | 33.27075月分 | |
| 勤続35年 | 39.7575月分 | 47.709月分 | |
| 最高限度額 | 47.709月分 | 47.709月分 | |
| その他の加算措置 | | | |
| ・定年前早期退職特例措置 (割増率2%~45%) | | | |
| 1人あたり平均支給額 | | | |
| ・自己都合 | | ・応募認定・定年等 | |
| —千円 | | —千円 | |

(注) 1 白岡市は、埼玉縣市町村総合事務組合に加入しており、退職手当の支給率は同組合の条例に基づくものである。

2 退職手当の1人あたり平均支給額は、令和2年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当（令和2年4月1日現在）

| 支給実績（令和元年度決算） | | 1,947千円 | |
|--------------------------|-----|----------|---------------|
| 支給職員1人あたり平均支給年額（令和元年度決算） | | 243,421円 | |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 | 一般行政職の制度（支給率） |
| 全地域 | 6% | 9人 | 6% |

エ 特殊勤務手当（令和2年4月1日現在）

該当なし

オ 時間外勤務手当

| | |
|-------------------------|---------|
| 支給実績（令和元年度決算） | 3,508千円 |
| 職員1人あたり平均支給年額（令和元年度決算） | 585千円 |
| 支給実績（平成30年度決算） | 2,930千円 |
| 職員1人あたり平均支給年額（平成30年度決算） | 326千円 |

(注) 1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人あたり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（令和元年度又は平成30年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（令和2年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 一般行政職の制度との異動 | 一般行政職の制度と異なる内容 | 支給実績 (令和元年度決算) | 支給職員1人 当たり平均 支給年額 (令和元年度決算) |
|--------------------|--|--------------|----------------|---------------------|--------------------------------------|
| 扶養手当 | ・ 配偶者 6,500円 | 同じ | — | 686千円 | 228,700円 |
| | ・ 父母等 6,500円 | | | | |
| | ・ 子 10,000円 | | | | |
| | ・ 満16歳の年度初めから 満22歳の年度末までの子 5,000円加算 | | | | |
| 住居手当 | 借家等居住者 (家賃額に応じて) 月額最高28,000円 | 同じ | — | 0千円 | 0円 |
| 通勤手当 | ・ 交通機関等利用者 運賃等相当額(最高月額55,000円) ・ 自動車等利用者 (距離に応じて)月額2,000円 ～31,600円 | 同じ | — | 218千円 | 54,600円 |
| 管理職 手当 | 管理又は監督の地位にある職員 (役職に応じて) 35,000円～70,000円 | 同じ | — | 1,380千円 | 690,000円 |
| 休日勤務 手当 | 休日において正規の勤務時間中 に勤務することを命ぜられた職員 (勤務1時間につき) 勤務1時間当たりの給与額 $\times 135 / 100$ | 同じ | — | 「オ 時間外勤務 手当」に含む。 | 「オ 時間外勤務 手当」に含む。 |
| 夜間勤務 手当 | 正規の勤務時間として午後10時 から翌日の午前5時までの間に勤務 する職員 (勤務1時間につき) 勤務1時間当たりの給与額 $\times 25 / 100$ | 同じ | — | 0千円 | 0円 |
| 管理職員 特別勤務 手当 | 管理職手当の支給を受ける職員が 次の勤務をした場合 ① 臨時又は緊急の必要その他 公務の運営の必要により週休 日又は休日等に勤務した場合 (役職に応じて) 4,000円～12,000円 ② 災害への対処その他の臨時又 は緊急の必要により平日の午前 0時から午前5時までの間の正規 の勤務時間以外の時間に勤務し た場合 (役職に応じて) 2,000円～4,000円 | 同じ | — | 0千円 | 0円 |